

(財)女性のためのアジア平和国民基金

# 第18回理事会

平成8年8月

# 第18回理事会議事録

(理事会/運営審議会/呼びかけ人会合同会議)

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

- 1、開催日時・場所  
平成8年8月20日(火) 17:00~22:00  
全日空ホテル 祥雲の間
- 2、出席者  
▼理事会 原理事長、有馬副理事長、金田理事、下村理事、山口理事、橋本監事  
▼オブザーバー 呼びかけ人会/衛藤氏、大来氏、大鷹氏、高橋氏、和田氏  
運営審議会/櫻庭委員、後藤委員、高崎委員、中嶋委員  
内閣官房外政審議室/東審議官、松井審議官、鈴木事務官、  
外務省アジア地域政策課/梅田課長、宮川事務官、中村事務官  
▼事務局 和田事務局長、安齋事務部長、多賀業務第一部長、  
高橋事務局長、原田事務局長、岡事務局長、間仲事務局長
- 3、議事録署名人  
理事長 文兵衛  
理事 山口 達  
理事 山口 達

## 4、議事次第

### ■報告および審議事項

#### ▼フィリピンについて

- ・8月14日のフィリピンでの実施状況、その後の動き等が伝えられた。
- ・比政府とリラ・ピリピーナとの関係をふまえて、今後基金はどのようなスタンスで関わってゆくべきかについて、作業委員会内で審議することになった。

#### ▼国連人権小委員会について

- ・ジュネーブ出張の報告が行われた。国連人権小委員会の奴隷制作業部会の報告書には、基金に関する日本政府の情報について「welcome the useful informations」と入れられることとなった。

#### ▼韓国への今後の対応について

- ・韓国の現状について報告があり、今後の対応を審議した。

#### ▼台湾への今後の対応について

- ・台湾の現状について報告があり、今後の対応を審議した。

#### ▼小冊子の改訂について

- ・償い金支給が開始したこともあり、昨年制作した小冊子の改定版を制作することとなった。

#### ▼基金の「償い事業説明会」について

- ・償い金支給が開始したことから、これまでの拠金者へのフィードバックの意味も含め、報告と説明のための集会を開くこととなった。

#### ▼在日韓国人被害者への対応について

- ・現状について、報告があった。基金より直接本人のところへ出向くことを想定し、作業委員会検討し、担当者の推薦を行うこととなった。

#### ▼募金状況について

- ・8月17日現在、募金総額439,813,370円であることが報告された。

#### ▼次回会合について

- ・未定。

以上